

発行／出雲市 文化環境部 環境政策課 減量推進係 E-mail:kankyou-seisaku@city.izumo.shimane.jp

〒693-8530 出雲市今市町70 ☎0853-21-6988 FAX 0853-21-6597

シリーズ「出雲市のごみ処理基本計画について」 その3

前号からシリーズでお知らせしている「第2次出雲市ごみ処理基本計画」の3回目の今回は、出雲市における「ごみ減量・再資源化推進のための主な施策」についてお話ししていきます。

本計画は、前計画の策定から5年が経過したこと、平成23年10月の斐川町との合併や可燃ごみが増加傾向にあることなどの状況の変化により計画の見直しを行ったもので、平成25年度から平成34年度までの10年間のごみ処理計画です。

計画中の基本方針を(1)排出抑制の推進、(2)再生利用の推進、(3)ごみの適正処理の3本柱とし、それらを実現するための数々の具体的な施策を展開して、ごみ減量の目標である平成29年度4%減(平成23年度実績との比較して)を実現するものであります。



燃えないごみ処理場に集まった破碎ごみ

市民のみなさまに、引き続き3R「リデュース(排出抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再資源化)」の取り組みを積極的に実施していただき、出雲市全体が一つとなってごみを減らしていきましょう。

再資源化推進のための主な施策

ごみ減量・再資源化に関わる施策で、市民と事業者が主体となって取り組む主な施策は、次のとおりです。

◎ 排出抑制：ごみを減らす【リデュース】

●ごみ減量化アドバイザー事業

生ごみの堆肥化等、ごみの減量に関する施策を実践しているアドバイザー（出雲市ごみ減量化アドバイザー）により、ごみ減量や分別等に関する意識啓発や指導、助言等を行っていきます。



●施設見学会の実施

環境学習や生涯学習のため、廃棄物処理施設等の見学会を実施します。



●地域でのごみ減量研修の推進

環境保全連合会各支部、PTA等が主催するごみ減量にかかる研修会の開催を推進します。



●事業所ごみの減量化策

（事業所訪問、ごみ排出実態調査）

市内の事業所を訪問し、発生するごみの処理方法等を調査するとともに、ごみの減量化、資源化をアドバイスします。

●剪定枝粉碎機貸出事業

剪定枝は、チップ化することで堆肥や土壌改良剤等として利用できます。剪定枝のチップ化を推進するため、家庭でも利用できる剪定枝粉碎機を貸し出します。



●マイバック運動の推進

マイバッグ持参運動の継続、レジ袋の有料化店舗の拡大を推進します。



◎ 再使用：繰り返し使う【リユース】

- リサイクルショップの活用の推進
市内にあるリサイクルショップを市ホームページ等で紹介し、リユース、リサイクルを推進します。



- 不用品交換の推進
古着市等により不用となった衣類等のリユースに努めるなど、資源の有効利用に取り組みます。



◎ 再生利用：再資源化【リサイクル】

- リサイクル団体回収補助金
資源ごみのリユース、リサイクル促進を目的として、一般家庭の古紙・空き缶・リターナブルびんを回収する団体に対し、活動の支援を行います。



- リサイクルステーションの適正配置
古紙等の回収を促進するために、リサイクルステーションの適正配置を図ります。



3 Rの推進に、皆様のご協力をお願いいたします。



教えて！ ごみの出し方！

このコーナーでは、知っているようで知らなかったごみの出し方や、ついつい起こってしまうトラブルなどをテーマに分かりやすく解説していきます。

今回は・・・

**布団はたたんで縛って
可燃ごみ収集券で出して！**



布団は1枚ずつを折りたたんで紐で縛り、可燃ごみ収集券をそれぞれ貼って、燃えるごみの日に出しましょう。

指定袋で出す場合は50cm四方に裁断する必要がありますので、収集券の方が便利ですよ (^o^)/

※ 複数の布団をまとめて縛ることはできません。

※ 一度に出せるごみの数は、ごみ袋と合わせて4つまでです。

突撃！ごみ減量化レポート！

このコーナーは、皆様のご家庭や職場でごみ減量をどのように工夫して実践しているかを紹介する情報コーナーです。

今回は出雲地域にお住いの野津さんのご自宅に突撃させていただきました。

今回は出雲地域にお住いの野津雅子さんのお宅へ突撃させていただきました。

野津さんは出雲市が依頼するごみ減量化アドバイザーとして地域でのごみの減量に関する活動を積極的に展開しておられます。洋裁が得意な野津さんは布切れを再利用されるのがとてもお上手なようですよ(^)



野津さんの作品です。

「はい。以前は仕事として洋裁・手芸を手掛けていまして、その経験を生かして楽しみながらリサイクルをしています。特に我が家の台所には下拭き用として雑布（ウエス）を備えていますが、綿100%に限りますね。不用になったTシャツや肌着等を約20～30 cmに切りたたんで、使い捨て布として利用しています。流し台や床、ガスレンジまわりなど

を綺麗にするため、または食器を洗う前のふき取りなどに簡単に使えます。とっても便利なんです。使い終われば、そのままごみとして出せます。」

なるほど！肌着であれば、もともと汗をよく吸い取るものですので、とっても良いですね。

「そうですね。捨てる前にもう一度形を変えて使うことが大切だと思いますよ。いろいろな物に作り変えることも楽しいですしね。」

おお！まさに出雲市が進めている3Rの取り組みの「リユース（再使用）」を楽しく実践しておられるんですね。スタイリッシュですね。



肌着ウエスで台所もピカピカです。

今まで何の気なしに捨てていたごみも、ちょっとしたアイデアで減量できるようになりますよ。皆さまも野津さんのように楽しくごみの減量化に取り組んでみませんか(^o^)/



働くオジサン! こんにちは!

今回から始まりました新シリーズ「働くオジサン! こんにちは!」は、ごみ処理の現場で働いていらっしゃる職員さんから、市民の皆様へ生の声を伝えるコーナーです。
第1回目の今回は、出雲クリーンプラザの佐藤さんにレポートしました。



出雲市の燃えないごみ処理場「出雲クリーンプラザ」で働いていらっしゃる佐藤さんは、市内から搬入される破碎ごみや埋立ごみなどをいつも見守っているナイスガイです。毎日毎日たくさんの燃えないごみが入ってきますが、何か困ったことはありませんか?

「はい。出雲市民の皆様には分別のルールを守っていただいていますので、私たちが気持ちよく仕事をさせていただいていますよ。でも、中には一部ですけどルールが守られていないごみがあります。さらに、危険が伴うごみもあるんですよ。」

それはどんなごみですか?

「困ったごみとしてまず挙げるとすれば、スプレー缶ですね。穴を開けてエア抜きのしていないものがとても多いんです。さらに、スプレー缶の中身がまだたくさん残っているものもよく見かけます。それらは爆発することがあって大変危険なんですよ。」

それはいけませんね。分からなければいいと思ってルールを守らずにごみを出すと、処理場で事故がおこることになるんですね。



スプレー缶処理は手作業です。

「はい。他にもガスの抜いてないライターなどが搬入されるため、それらを手選別して処理しなければなりません。これは大変なんですよ。」

私たちは生活の中で必ずごみを出していく訳ですが、減量することとあわせて、処理場で働いている職員さんへの気配りも大切ではないでしょうか。